

1 学期 始業式

校長 栃倉 和則

この三月、卒業生たちが、晴れやかな表情で、しっかりとした足取りで巣立っていきました。私も記念撮影の中に入れていただき、皆で *Touch the Sky!* などと言ってシャッターを切ってもらいました。中に「校長先生、ところでなんで *Touch the Sky!* なんですか」と聞く卒業生がいました。そうか、何年も言い続けてきて、言葉自体は定着したけれど、その意味を記憶に留めていない人や、そもそもその時の話を聞いていない人もいたかもしれない…先生方もこの三年間で随分と代わりました。そんなわけで、今年の春は、改めてきちんと話をしておきたいと思ったわけです。

この言葉に至ったのは、私が豊多摩に着任した3年前の春。銀杏並木を歩いて、空を見上げました。カラスが鳴いていました。

Don't be a parrot in life, be an eagle. A parrot talks way too much and can't fly high but an eagle is silent and has the will power to touch the sky!

「オウムになるな、鷲になれ。オウムはお喋りしてばかりで高く飛べない。鷲はじっと黙っているが、確固たる意志を持って空に届かんとする。」という、英語の古い言い回しから取ったものです。カラスじゃあまりかっこよくないですね。

三つの願いをこめています。

ひとつは、この広い学校で伸び伸びと、誰に遠慮することなく大らかに、生活してほしいということ。鷲のように悠々と。

二つ目に、行動力を期待します。ぺちやくちゃしゃべるオウムのように、口先だけではダメで、自ら動き実行する人になってほしい。

そして三つ目に、高いところを目指す。頂点に立つ。もちろん、部活動では一つでも上の大会で勝つ、あるいは目指す大学に行ってほしいという願いです。

伸び伸びと取組み、主体的に行動し、高い目標を達成する。どれ一つ欠けてもいけません。すべてのことを成し遂げてください。

新しい学年がスタートします。明日、入学式。第79期生を迎えます。皆さん一人一人が、それぞれ期待と決意を持って、新学期に臨んでいると思います。

黒澤映画の「生きる」はご存じでしょうか。昨年、ノーベル賞作家のカズオ・イシグロによってリメイクされたイギリス映画も話題になりました。

市役所の市民課長を務める主人公、仕事への情熱も忘れ、無気力な日々を送っていた、ある日、余命いくばくもないことを悟る。人生の意味を見失って遊興にふける。ある日、市役所を辞めていく部下の生き方、生命力に惹かれ、心を動かされ、まだ出来ることがあると、俄然やる気になる。そして、市民の念願だった公園を作る。「命短し恋せよ乙

女」と歌いながらブランコに揺られる場面が印象的でした。残された時間を大切に過ごしたい。最期を知り、人生が輝きだす。生きるということが、単に生命があるということではなく、関わる、何かをなす、そういうことであると強く感じさせる、そんなテーマだったかと思います。

みなさんは、今の生活が無限に続くとお思いではないでしょうか。今、大地震があっても、自分だけは生き残れると感じているのでは？では、高校生活という限定をつけたとして、どうでしょう。無限に続くのでしょうか。

3年生はあと一年、2年生はあと二年。3年生にとっては、高校生活の総まとめ、そして進路決定に向けた大切な一年となります。この一年が皆さんにとって悔いのない実りある年となることを期待しています。やり残したことがないように、今なら間に合います。

2年生は、これまでの一年生気分ではいけません。「実はこの一年が一番差のつく、大切な年である」と心に刻んでください。勉強、難しくなりますよ。それを乗り越えるためには、学習時間を増やす必要があります。心してかかってください。今年しっかり生活できなかつたら、3年生の時に苦しい思いをすることになります。

この一年間、あるいは二年間を、後悔のないように過ごしてください。秘訣は、「今しかできないこと」に汗を流すことです。例えば、ゲームやスマホは今でなくてもできます。例えば、アルバイト、今やらなければなりません。将来、いやというほど働かされますよ。部活は？今、やらないで、いつできますか？大学で体育会系の部活動に入る人はごく一部だと思います。勉強、今やるのが卒業後の成功へのたったひとつの道です。今しかできないことに精いっぱい取り組んでください。「今しかできないことに汗を流す」これを今年度の年間目標にしていきたい。

勉強、部活動かという優先順位をつけたい人もいると思います。でも、豊多摩では、両立という言葉で私はお願いしています。あえて言えば、両方とも優先する。勉強でも部活動でも最高の準備、最高の成績を目指して下さい。短い時間をどう使えというのか、と返ってきそうですが、一日24時間、誰もが有する共通の時間です。これをどのように使うのか、そこで差が出ます。チャンスは平等にある。そのチャンスをどう生かすかは、個々の責任。"Noblesse oblige"「位高くして務め多し」上に立つ人は、仕事も多いのです。みなさんは、将来、それだけのことが任される人になります。チャンスを生かす、短い時間内で多くの仕事をこなす、それがその人の能力です。

今やらなければならないこと、今しかできないことは何ですか。それがあなたの可能性を引き出し、高めることになります。この新しい年も、豊多摩に広がる空を見上げて、想像と挑戦、そして継続をお願いします。というわけで…

Touch the Sky!